

大雪に対する国土交通省緊急発表

- 関東甲信地方や東北地方では、明日22日昼頃から23日朝にかけて、太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、東京23区など、普段雪の少ない平野部を含めて大雪となるおそれがあります。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

※別添もご参照ください

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直 (内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 太原 芳彦 (内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(類似の被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 福本仁志 (内線37812)

課長補佐 福崎昌博 (内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

- 関東甲信地方や東北地方では、明日22日昼頃から23日朝にかけて、太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、東京23区など、普段雪の少ない平野部を含めて大雪となるおそれがあります。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、チェーンの早めの装着等をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】 21日14時00分時点 平成30年1月22日から23日にかけての大雪

<大雪の期間>

	21日	22日			23日 朝	備考
		朝	昼	夜		
東北地方 (太平洋側)		←→				
関東地方		←→				関東地方北部山沿い 以後も続く
甲信地方		←→				長野県北部山沿い 以後も続く

※23日以降は、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に大雪となる見込み。

<降雪量の予想>

23日6時まで予想される24時間降雪量(多い所)

- 東北地方太平洋側 30～50センチ
- 甲信地方、関東地方北部山沿い 20～50センチ
- 箱根から多摩地方や秩父地方にかけて 20～50センチ
- 関東地方平野部 10～40センチ
(東京23区など 5～10センチ)

- 大雪や路面の凍結による交通障害に厳重警戒。電線や架線、樹木への着雪、なだれなどに注意。
- 詳細な気象情報については、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)をご覧ください。

【2. 過去の大雪における被災事例】 平成26年2月13日から15日にかけての大雪

< 普段雪が降らない地域の記録的大雪により車両の立ち往生 約1,600台※ >

※ 直轄国道における立ち往生台数

- 14日から15日にかけて、関東甲信地方の広い範囲で記録的降雪となった。
- 高速道路や国道でノーマルタイヤの車両の立ち往生をきっかけに、大規模な立ち往生が発生。
- 最長で4日間立ち往生が解消せず、人流・物流に大きな影響を与えた。



国道18号(軽井沢バイパス)

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。